

## 特定外来生物等の第二次選定にあたっての基本的な考え方（案）

平成 17 年 4 月 5 日

### 1 第一次選定を踏まえた検討対象の考え方

第一次選定においては、生態系等への被害について科学的知見があり特定外来生物指定に向けての条件が整っている 37 種類を選定した。

第二次選定においては、第一次選定の際、「生態系等への影響について文献等で指摘があり、さらに知見・情報の充実に努める必要のある外来生物(要注意外来生物)」を主な検討対象とし、新たに知見が得られた種及び IUCN「世界の侵略的外来種ワースト 100」リストに掲げられた生物等についても、予防的観点から検討対象として取り上げる。

特定外来生物被害防止基本方針第 2 . 1 . ウにおいて、他法令上の措置により外来生物法と同等程度の規制がなされていると認められるものは、選定の対象としないこととされている。こうした他法令との関係を前提として、科学的知見の不足等により、他法令の規制対象かどうか明確でない生物について、本法の規制対象とする可能性がないか検討する。

（セイヨウオオマルハナバチについては、年内程度を目途に指定についての検討作業を進める。）

### 2 選定の検討対象と検討方法

第一次選定作業においては、生態系等への被害についての科学的根拠が既存文献にないものについては、検討対象から除外していたが、第二次選定作業においては、専門家会合の討議により生態系等への被害が確実と推定されるものについては、その生物学的根拠を記述しつつ、特定外来生物選定の根拠として採用する。

各分類群グループ専門家会合においては、本基本的考え方を踏まえ、分類群ごとに作成した「外来生物の特徴と選定に際しての留意点」を改訂し、検討を行う。

### 3 第二次選定のスケジュール

4 月から分類群ごとの専門家グループ会合を開催し、7 月末に専門家全体会合を開催して第二次選定作業を終了する予定。なお、分類群ごとの進捗をみつつ、6 月上旬に全体会合を開催して中間的とりまとめを行う。

生態系等への影響について文献等で指摘があり、さらに知見  
及び情報の充実に努める必要のある外来生物のリスト  
( 要注意外来生物リスト )

1 . 第 2 回全体会合資料からの変更について

第 2 回全体専門家会合以降に未判定外来生物に係る流通状況を継続して調べたところ、魚類ペルキクティス科の次の 2 種については、輸入の実態があることが分かり、未判定外来生物の対象から除くこととした。

- ・ マーレーコッド ( *Maccullochella peelii* )
- ・ ゴールデンパーチ ( *Macquaria ambigua* )

上記 2 種については、生態系等への影響について文献等で指摘があることから、要注意外来生物リストに含めることとした。このため、第 2 回全体専門家会合の時点では魚類 27 種だったが、今回 29 種となる。

なお、今回の整理に際し、第 2 回全体専門家会合の資料を再度精査したところ、無脊椎動物 20 種類のうち、ウチダザリガニ ( 亜種タンカイザリガニを含む ) を 2 種でカウントしていたことが判明し、合計 19 種類に訂正することとした。

以上のことから、要注意外来生物の種類数は、現時点で、哺乳類 15 種、鳥類 2 種類、爬虫類 12 種類、両生類 9 種、魚類 29 種、昆虫類 3 種類、無脊椎動物 19 種類、植物 60 種類で計 149 種類となる。

2 . リストの公表について

要注意外来生物は第二次選定の検討対象となっており、その検討結果を踏まえて整理した上で公表する予定。

## 第1次特定外来生物選定種及び要注意外来生物分類群別一覧表

	哺乳類・鳥類	爬虫類・両生類	魚類	昆虫類	無脊椎動物	植物	合計
第1次指定	台湾ザル、カニクイザル、アカゲザル、アライグマ、カニクイアライグマ、ジャワマンゲース、クリハラリス(台湾リス含む)、トウブハイイロリス、ヌートリア、フクロギツネ、キョンガビチョウ、カオグロガビチョウ、カオジロガビチョウ、ソウシチョウ	カミツキガメ、グリーンアノール、ブラウンアノール、ミナミオオガシラ、タイワンスジオ、台湾ハブ オオヒキガエル	オオクチバス、コクチバス、ブルーギル チャネルキャットフィッシュ	ヒアリ、アカカミアリ、アルゼンチンアリ	ゴケグモ属のうち4種(セアカゴケグモ、ハイイロゴケグモ、ジュウサンボシゴケグモ、クロゴケグモ)、イトグモ属のうち3種、ジョウゴグモ科のうち2属全種、キョクトウサソリ科全種	ナガエツルノゲイトウ、ブラジルチドメグサ、ミズヒマワリ	
	哺乳類11種 鳥類4種	爬虫類6種 両生類1種	4種	3種	5種類	3種	37種類
継続検討中				セイヨウオオマルハナバチ			1種類
要注意外来生物リスト(暫定版)	ナミハリネズミ、リスザル、キタリス、チョウセンシマリス、タイリクモモンガ、フェレット、アメリカミンク、シカ属8種、インドクジャク、外国産メジロ	ワニガメ、ミシシippiaアカミミガメ、キバラガメ、クーターガメ属全種、チズガメ属3種、ハナガメ、チュウゴクスッポン、アメリカスッポン属全種、グリーンイグアナ、ヒョウモントカゲモドキ、アフリカツメガエル、コキーコヤスガエル、ヒキガエル属5種、ウシガエル、シロアゴガエル	ソウギョ、アオウオ、オオタナゴ、タイリクバラタナゴ、ブラウントラウト、カワマス、ニジマス、カダヤシ、グッピー、ケツギョ、コウライケツギョ、ナイルパーチ、ストライプトバス、ホワイトバス、タイリクスズキ、ヨーロピアンパーチ、バイクパーチ、マーレーコッド、ゴールデンパーチ、ナイルティラピア、カワスズメ、カルムチー、タイワンドジョウ、コウタイ、ノーザンバイク、マスキーバイク、ヨーロッパナマス、ウォーキングキャットフィッシュ、マダラロリカリア	クワガタムシ科、ホソオチョウ、アカボシゴマダラ	イガイダマシ、カワホトトギスガイ、台湾シジミ種群、シナハマグリ、カニヤドリカンザシ、カサネカンザシ、ヨーロツパミドリガニ、チチュウカイミドリガニ、チュウゴクモクズガニ、ウチダザリガニ、アメリカザリガニ、ムラサキイガイ、ミドリイガイ、カワヒバリガイ、コウロエンカワヒバリガイ、タテジマフジツボ、カラムシロ、ヤマヒタチオビ、ニューギニアヤリガタリクウズムシ	アメリカカウキクサ、オオサンショウモ、ハゴロモモ、アメリカミズユキノシタ、オオフサモ、オトメアゼナ、ハナガガブタ、ナガバオモダカ、オオカナダモ、コカナダモ、ホテイアオイ、キシノウブ、ボタンウキクサ、ムラサキカタバミ、ハルジオン、オオハンゴンソウ、セイトカアワダチソウ、ヒメジョオン、ノハカタカラクサ、イタチハギ、ギンネム、ハリエンジュ、トウネズミモチ、ハイイロヨモギ、シナダレスズメガヤ、オニウシノケグサ、カモガヤ、シバムギ、キシウスズメノヒエ、オオアワガエリ、オランダガラシ、キクイモ、外来種タンポポ種群、ハリビユ、イチビ、エゾノギシギシ、アレチウリ、ハルザキヤマガラシ、ドクニンジン、メマツヨイグサ、コマツヨイグサ、ワルナスビ、ヤセウツボ、ヘラオオバコ、アメリカネナシカズラ、セイヨウヒルガオ、オオフタバムグラ、オオカワヂシャ、アメリカオニアザミ、カミツレモドキ、ブタクサ、ブタナ、オオオナモミ、オオブタクサ、アメリカセンダングサ、コセンダングサ、オオアレチノギク、ヒメムカシヨモギ、メリケンカルカヤ、メリケンガヤツリ	149種類
	17	21	29	3	19	60	149

「世界の侵略的外来種ワースト100 (IUCN)」掲載種における第2次指定の検討対象種

	哺乳類・鳥類	爬虫類・両生類	魚類	昆虫類	無脊椎動物	植物	合計
第1次指定	カニクイザル、ジャワマン グース、トウブハイロリ ス、ヌートリア、フクロギツ ネ	ミナミオオガシラ、オオ ヒキガエル	オオクチバス	ヒアリ、アルゼンチンア リ			
	哺乳類5種 鳥類0種	爬虫類1種 両生類1種	1種	2種	0種	0種	10種類
要注意外来生 物リスト(暫定 版)	アカシカ	アカミミガメ、ウシガエ ル、コキコヤスガエル	ウォーキングキャットフィ ッシュ(ヒレナマズの1種)、カ ダヤシ、カワスズメ、ナイル パーチ、ニジマス、ブラウン ラウト		ニューギニアヤリガタリクウ ズムシ、ミドリガニ、カワホト ギスガイ、ムラサキイガイ、ヤ マヒタチオビガイ、チュウゴク モクスガニ	ギンネム、ホテイアオイ	18種類
植物防疫法対 象種				キナラ・カブレッシ(オ オアブラムシの1種)、 タバココナジラミ、ヒメア カカツオブシムシ、ツヤ ハダゴマダラカミキリ	スクミリンゴガイ、アフリカマ イマイ		6種類
在来生物または 明治維新以前 に導入された生 物	ハツカネズミ、アカギツネ、 アナウサギ、イエネコ、オオ ジヨ、クマネズミ、ヤギ、ヨー ロッパイノシシ、ホシムクド リ		コイ	イエシロアリ、アシナガ キアリ、キオビクロスズ メバチ、ツヤオオズア リ、マイマイガ、ヒトスジ シマカ	キヒトデ	イタドリ、エゾミソハギ、クズ、ダンチク、チガヤ (アランアラン)、ハギクソウ、ホザキササルノオ、 ワカメ、イチイツタ	26種類
上記以外	インドハッカ、シリアカヒヨド リ			アノフェレス・ケアドリマ クラタス(ハマダラカの1 種)、コカミアリ	ヌマコダキガイ、ムネミオブシ ス・レイディ(ツノクラゲの1 種)、セルコバジス・ベンゴイ (オオメジジコ科の1種)	アカキナノキ、アメリカクサノボタン、アルディ シア・エリプティカ(ヤブコウジ属の1種)、カエ ンボク、サンショウモドキ、ストロベリーグ アバ、タマリクス・ラモシッシマ(ギョリュウ属の1 種)、ハリエニシダ、ミコニア・カルヴェセン (ノボタン科の1種)、ミツバハマグルマ、モリシ マアカシア、ランタナ、ミリカ・ファヤ(ヤマモ 属の1種)、ミモザ・ビグラ(オジギソウ属の1 種)、ミカニア・ミクランサ(キク科の1種)、プロ ソピス・グランドゥロサ(イネ科の1種)、セクロ ピア、クロモラエナ・オドラタ(キク科の1種)、 キミノヒマラヤキイチゴ、オープンティア・ストリク タ(ウチワサボテン属の1種)、カユブテ、キバ ナシユクシャ、フランスカイガンショウ、リグス トルム・ロブストゥム(イボタノキ属の1種)、スバ ルティナ・アングリカ(イネ科の1種)	32種類
微小生物	アフマイセス病、カエルの表皮に寄生するツボカビの一種、カビの1種の感染によるニレの疾病、牛疫ウイルス、クリ桐枯れ病、鳥マラリア、バイナップルの疾病、バナナ萎縮病ウイル ス						8種類

「日本の侵略的外来種ワースト100(日本生態学会)」掲載種における第2次指定の検討対象種

	哺乳類・鳥類	爬虫類・両生類	魚類	昆虫類	無脊椎動物	植物	合計
第1次指定	アライグマ、タイワンザル、ヌートリア、ジャワマンゲース、ガビチョウ、ソウシチョウ	カミツキガメ、グリーンアノール、タイワンスジオ、オオヒキガエル	オオクチバス、コクチバス、ブルーギル	アルゼンチンアリ	セアカゴケグモ		
	ほ乳類4種 鳥類2種	爬虫類3種 両生類1種	3種	1種	1種	0種	15種類
継続検討中				セイヨウオオマルハナバチ			1種類
要注意外来生物リスト(暫定版)		ミシシippアカミミガメ、ウシガエル、シロアゴガエル	カダヤシ、ソウギョ、タイリクバラタナゴ、ニジマス、ブラウントラウト		アメリカザリガニ、ウチダザリガニ、チチュウカイミドリガニ、カワヒバリガイ、コウロエンカワヒバリガイ、シナハマグリ、ムラサキイガイ、ヤマヒタチオビガイ、カサネカンザシ	アレチウリ、イタチハギ、イチビ、オオアレチノギク、オオオナモミ、オオカナダモ、オオフサモ、オオブタクサ、オニウシノケグサ、外来種タンポポ種群、カモガヤ、キショウブ、コカナダモ、シナダレスズメガヤ、セイタカアワダチソウ、ハリエンジュ、ハルザキヤマガラシ、ハルジオン、ヒメジョオン、ボタンウキクサ、ホテイアオイ	38種類
植物防疫法対象種				アメリカシロヒトリ、アリモドキソウムシ、アルファルファタコソウムシ、イエシロアリ、イネミズソウムシ、イモソウムシ、インゲンテントウ、ウリミバエ、オンシツコナジラミ、カンシャコバナネガカメムシ、カンショオサソウムシ、シルバーリーフコナジラミ、チャバネゴキブリ、トマトハモグリバエ、ヒロヘリアオイラガ、マメハモグリバエ、ミカンキイロアザミウマ、ミナミキイロアザミウマ、ヤノネカイガラムシ	アフリカマイマイ、サカマキガイ、スクミリンゴガイ、チャコウラナメクジ、トマトサビダニ、(アメリカザリガニ、ウチダザリガニ)		24種類(2)
在来生物または明治維新以前に導入された生物	イノブタ、カノウサギ、チョウセンイタチ、ニホンイタチ、ノネコ、ヤギ、コウライキジ、シロガシラ、ドバト					アカギ、イチイツタ	11種類
上記以外				ネッタイシマカ		オオアワダチソウ、オオキンケイギク、タチアワユキセンダングサ、ネバリノギク	5種類
微小生物	アライグマカイチュウ、エキノコックス、ジャガイモシストセンチュウ、ネコ免疫不全ウイルス、マツノザイセンチュウ、ミツバチヘギイタダニ						6種類